

2022年3月期 第2四半期
決算説明資料

2021年 11月 9日
株式会社クレハ

当資料のポイント (2)

I. 2022年3月期 第2四半期業績

- ・ 概要 (4) ~ (8)
- ・ セグメント別実績 (9) ~ (13)
- ・ キャッシュフロー (14)
- ・ 財政状態計算書 (15)

II. 2022年3月期 業績予想

- ・ 概要 (17) ~ (21)
- ・ セグメント別予想 (22) ~ (26)
- ・ キャッシュフロー (27)
- ・ 主要指標予想 (28) ~ (29)

III. 添付資料

- ・ PVDF事業について (31)
- ・ PGA事業について (32)
- ・ 株主還元に関する考え方 (33)
- ・ 連結対象会社の概要 (34) ~ (35)

- **営業利益** 第2四半期実績114億円（前年同期比+84%、当初予想比+52%）
通期予想 195億円（前年同期比+13%、当初予想比+30%）

- **期末配当** 前年度末85円／株を、100円／株の増配（予想）へ

□ 2021年度の事業環境

- ・ 上期はコロナ禍による“巣ごもり消費”や“屋外レジャー需要”が持続、下期は徐々に減退を予想。
- ・ 経済および環境対策として各国は電動車普及策を促進し、EVの生産・販売は大きく伸長、車載用リチウムイオン二次電池の需要は急増中。
- ・ コロナ禍からの回復途上では、物流のひっ迫、石油他各種資源の需給ひっ迫が生じており、各種原燃料が高騰し高止まり。
- ・ 当社事業においては、自動車減産の影響は軽微。

□ 当社グループの対応

- ・ PVDF、PPS、NEWクレラップ等で、付加価値の高い銘柄の比率を増し、生産性向上と増産によりコスト低減を進める。
- ・ 原燃料価格高騰に対し、適切な価格転嫁を進める。

□ 今後の主要リスク

- ・ 中国の電力供給制限による操業度低下と原料調達難
-PVDF常熟工場、炭素繊維上海工場
-いわき事業所で使用する中国製フッ素原料の輸入
- ・ 直近の市況を上回る急激な原燃料価格の高騰と転嫁遅れ

為替前提

	2020 年度実績	2021年度		
		当初予想	上期実績	今回予想
ドル	¥106.10	¥107.00	¥109.80	¥108.00
ユーロ	¥123.76	¥128.00	¥130.90	¥129.00
元	¥15.68	¥16.50	¥17.00	¥16.50

1. 2022年3月期 第2四半期業績

2022年3月期 第2四半期決算の概要 (1)

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2021/3 2Q	2022/3 2Q	増減額 (率)	2022/3 2Q予想	増減額 (率)
売上収益	660	791	130 (19.7%)	745	46 (6.1%)
セグメント別 営業利益計	63	111	48 (76.2%)	75	36 (48.3%)
営業利益	62	114	52 (84.0%)	75	39 (51.5%)
税引前 四半期利益	64	115	51 (79.2%)	75	40 (52.7%)
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	48	83	35 (73.0%)	57	26 (46.1%)
基本的1株当たり 四半期利益 (円/株)	246.64	426.73		292.04	

< 前期比での主な差異要因 >

〔売上収益〕

環境事業、建設関連が減収となったものの、機能製品、化学製品、樹脂製品が増収となり、合わせて増収。

〔営業利益〕

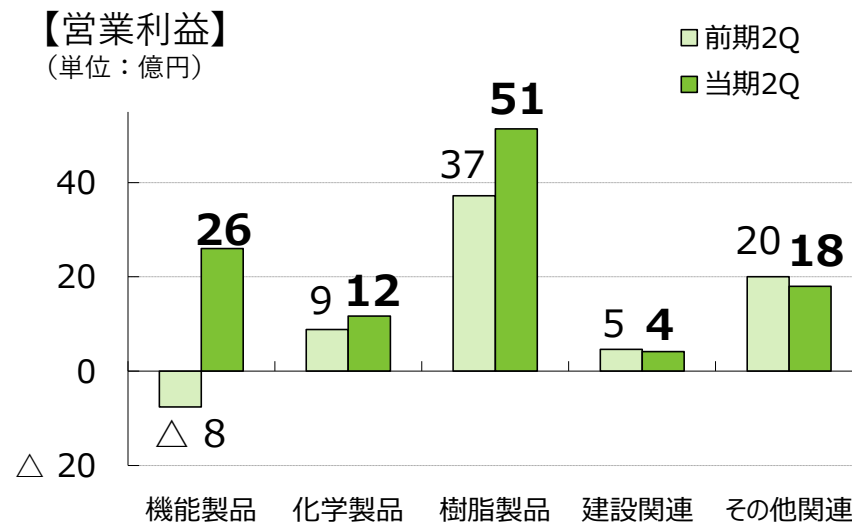
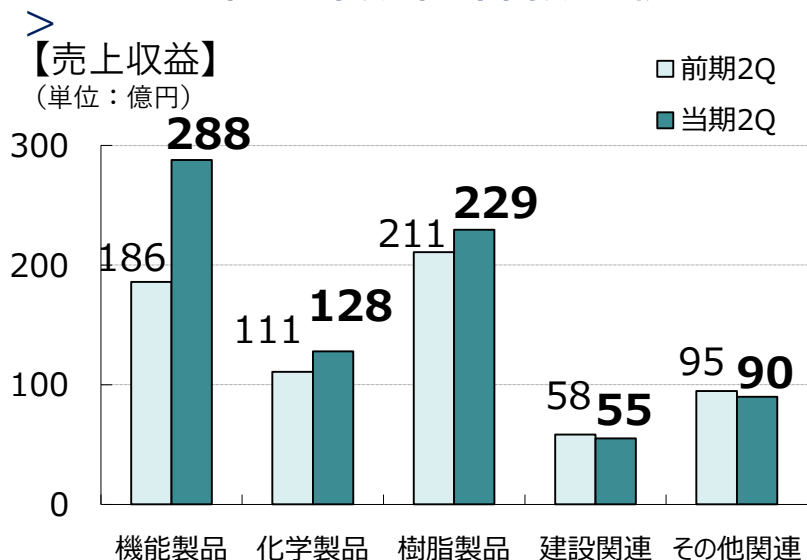
車載用リチウムイオン二次電池(LiB)向けが好調なPVDF、増設プラントの稼働がはじまったPPSを中心とした機能製品、家庭用ラップが好調な樹脂製品などが増益となり、販管費の下期ずれ込みもあり、増益。

< 当初予想比での主な差異要因 >

PVDF、家庭用ラップ等付加価値の高い製品の売上が予想を上回り、国内グループ会社の好調と、米国PPS持分会社の増益や、販管費の下期ずれ込みもあり、売上・利益ともに上振れ。

KUREHA

<セグメント別 第2四半期 前年同期比較>



<セグメント別 営業利益の主な増減要因>

- 〔機能製品〕 PVDF、PPS、その他の機能製品などが増収となり、増益。
- 〔化学製品〕 工業薬品が営業損失から営業利益に転換し、増益。
- 〔樹脂製品〕 家庭用品、業務用包材などが増収となり、増益。
- 〔建設関連〕 公共工事の着工遅れ等があり、減益。
- 〔その他関連〕 前年同期にあった災害廃棄物処理等が完了し、減益。

2022年3月期 第2四半期決算の概要 (3)

株式会社クレハ

2021年3月期 第2四半期 実績

	機能	化学	樹脂	建設	その他	全社
売上収益	186	111	211	58	95	660
セグメント別営業利益	-8	9	37	5	20	63
調整						-0
その他の収益(+)						2
その他の費用(-)						3
営業利益						62
金融収益(+)						3
金融費用(-)						1
税引前四半期利益						64
親会社四半期利益						48

(単位：億円)

2022年3月期 第2四半期 実績

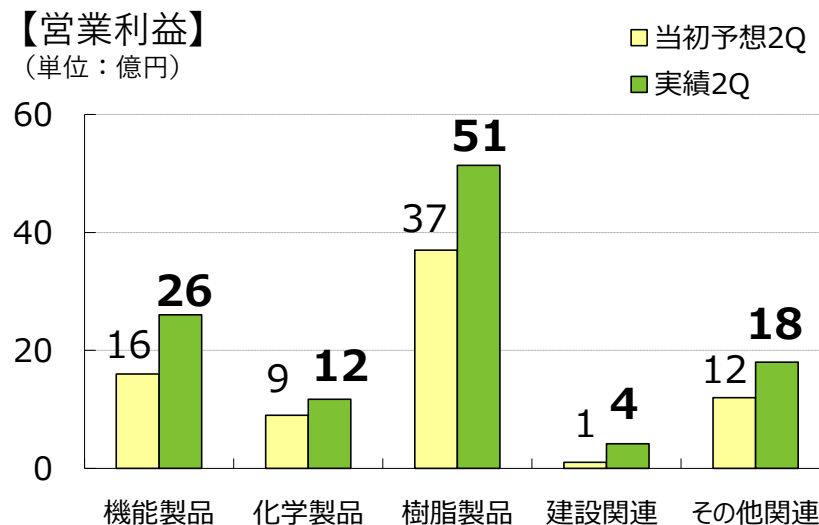
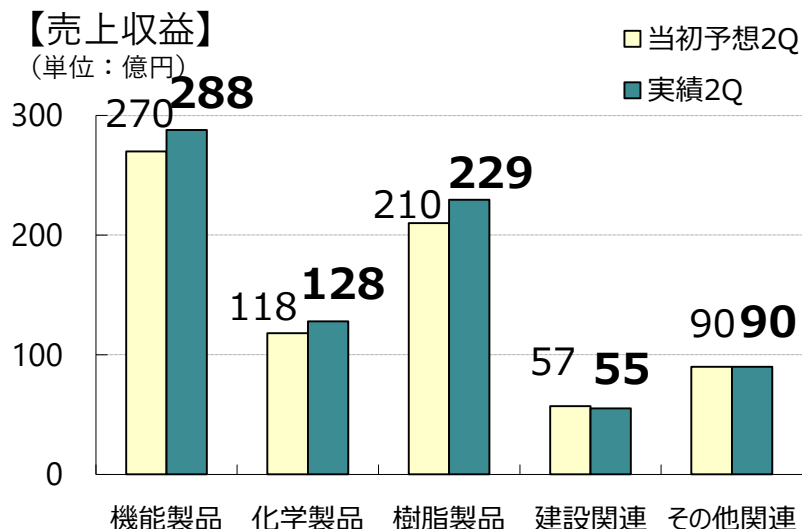
	機能	化学	樹脂	建設	その他	全社
売上収益	288	128	229	55	90	791
セグメント別営業利益	26	12	51	4	18	111
調整						0
その他の収益(+)						5
その他の費用(-)						2
営業利益						114
金融収益(+)						2
金融費用(-)						2
税引前四半期利益						115
親会社四半期利益						83

(単位：億円)

... 補助金収入差益 3億円 他

KUREHA

<セグメント別 第2四半期 当初予想比較>



<セグメント別 営業利益の主な増減要因>

- 〔機能製品〕 PVDF、炭素製品等の売上収益の上振れに加えて、PPS持分法利益が増加し、上振れ。
- 〔化学製品〕 農薬出荷の前倒しがあり、上振れ。
- 〔樹脂製品〕 家庭用品の巣ごもり需要が継続し、経費削減もあり、上振れ。
- 〔建設関連〕 工事物件の構成の変化、経費見直し等による原価率改善により、上振れ。
- 〔その他関連〕 低濃度PCB廃棄物処理等が増加し、上振れ。

2022年3月期 第2四半期決算の概要 (5)

株式会社クレハ

2022年3月期 第2四半期 当初予想

	機能	化学	樹脂	建設	その他	全社
売上収益	270	118	210	57	90	745
セグメント別営業利益	16	9	37	1	12	75
調整						
その他の収益(+)						1
その他の費用(-)						1
営業利益						75
金融収益(+)						1
金融費用(-)						1
税引前四半期利益						75
親会社四半期利益						57

(単位：億円)

2022年3月期 第2四半期 実績

	機能	化学	樹脂	建設	その他	全社
売上収益	288	128	229	55	90	791
セグメント別営業利益	26	12	51	4	18	111
調整						0
その他の収益(+)						5
その他の費用(-)						2
営業利益						114
金融収益(+)						2
金融費用(-)						2
税引前四半期利益						115
親会社四半期利益						83

(単位：億円)

... 補助金収入差益 3億円 他

KUREHA

【機能製品】セグメント別 連結業績

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2021年 3月期 2Q	2022年 3月期 2Q	増減 (率)
機能樹脂	116	194	79 (68%)
炭素製品	26	31	5 (21%)
その他	45	63	18 (41%)
売上収益	186	288	102 (55%)
営業利益	-8	26	34 -

[当初予想：売上収益 270億円 営業利益 16億円]

<前年同期比> 売上↑ 営業利益↑

機能樹脂

車載用LiBバインダー向けが好調なPVDF、増設プラントの稼働が開始したPPSなどの売上が増加し、増収・増益。

炭素製品

高温炉用断熱材および自動車部品摺動材向けの炭素繊維の売上が増加、利益は前年同期並み。

その他

コロナ禍の影響を受けた前期から、各種産業の生産が回復し、主要製品の販売が戻り、増収・増益。

<当初予想比> 売上↑ 営業利益↑

PVDFは付加価値の高い特殊ポリマーの販売が中国・韓国大手電池メーカー向けを中心に拡大、PPS持分法利益の増加、炭素製品、その他の機能製品の好調もあり、利益上振れ。

KUREHA

【化学製品】セグメント別 連結業績

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2021年 3月期 2Q	2022年 3月期 2Q	増減 (率)
農薬	31	33	2 (6%)
医薬品	22	23	1 (5%)
工業薬品	28	36	8 (30%)
その他	30	36	6 (21%)
売上収益	111	128	17 (16%)
営業利益	9	12	3 (32%)

[当初予想：売上収益 118億円 営業利益 9億円]

< 前年同期比 > 売上 ↑ 営業利益 ↑

農薬・医薬品

農業・園芸用殺菌剤、慢性腎不全用剤の売上が拡大し増収、医薬品の薬価改定、各製品の原料高騰があり、利益は前年同期並み。

工業薬品

各種産業の生産回復により、主要製品の数量が拡大し、増収・増益

< 当初予想比 > 売上 ↑ 営業利益 ↑

農業・園芸用殺菌剤は出荷前倒しがあり売上・利益ともに上振れ。工業薬品は原燃料の高騰があるも価格転嫁を行い、利益は予想通り。合わせて利益上振れ。

KUREHA

【樹脂製品】セグメント別 連結業績

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2021年 3月期 2Q	2022年 3月期 2Q	増減 (率)
家庭用品	112	121	9 (8%)
釣糸	20	23	3 (16%)
業務用包材	56	65	8 (14%)
その他	23	21	-2 (-9%)
売上収益	211	229	19 (9%)
営業利益	37	51	14 (38%)

[当初予想：売上収益 210億円 営業利益 37億円]

< 前年同期比 > 売上 ↑ 営業利益 ↑

家庭用品・釣糸

家庭用ラップ、レジャー用釣糸の売上が増加し、増収・増益。

業務用包材

前年同期のコロナ禍による外出自粛の影響が減少し、増収・増益。

< 当初予想比 > 売上 ↑ 営業利益 ↑

家庭用品は巣ごもり需要が継続、増産による原価低減、経費削減もあり、利益上振れ。

業務用包材は、東南アジアでのPVDCフィルムの販売が予想を上回り、利益上振れ。

KUREHA

(単位：億円)

	2021年 3月期 2Q	2022年 3月期 2Q	増減 (率)
建設関連事業	93	90	-3 (-3%)
連結売上消去	-35	-35	-0 -
売上収益	58	55	-3 (-5%)
営業利益	5	4	-0 (-11%)

[当初予想：売上収益 57億円 営業利益 1億円]

<前年同期比> 売上 ↓ 営業利益 ↓

民間工事は前年同期並みとなったものの、公共工事の着工遅れにより減収、減益。

<当初予想比> 売上 ↓ 営業利益 ↑

工事物件の構成の変化、経費見直し等による原価率改善により、利益上振れ。

【その他関連】セグメント別 連結業績

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2021年 3月期 2Q	2022年 3月期 2Q	増減 (率)
環境事業	68	66	-2 (-3%)
運送事業	37	41	3 (9%)
病院事業	19	20	1 (6%)
その他	12	12	-0 (-2%)
連結売上消去	-42	-49	-7 —
売上収益	95	90	-5 (-5%)
営業利益	20	18	-2 (-10%)

< 前年同期比 > 売上 ↓ 営業利益 ↓

環境事業は、低濃度PCB廃棄物等の産業廃棄物処理および処分は増加したものの、前年同期にあった災害廃棄物処理等がなくなり、減収・減益。

運送事業は売上・利益ともに前年同期並み。

病院事業は売上・利益ともに前年同期並み。

< 当初予想比 > 売上 → 営業利益 ↑

環境事業の低濃度PCB廃棄物処理の好調により、利益上振れ。

[当初予想：売上収益 90億円 営業利益 12億円]

KUREHA

(単位:億円)

	2021年 3月期 2Q	2022年 3月期 2Q	増減
税引前四半期利益	64	115	51
減価償却費および償却費	58	58	1
その他	-8	-38	-29
営業キャッシュフロー	113	135	22
投資キャッシュフロー ※	35	-48	-82
フリーキャッシュフロー	148	87	-60
財務キャッシュフロー	-45	-45	-1
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	1	1
現金及び現金同等物の増減額	103	43	-60
現金及び現金同等物の期首残高	73	178	106
現金及び現金同等物の期末残高	176	221	46

※投資有価証券の売却収入
2021年3月期2Q 92
2022年3月期2Q -

1. 資産の部

	2021年 3月末	2021年 9月末	増減
現金・現金同等物	178	221	43
営業・その他債権	282	314	32
棚卸資産	365	347	-17
その他流動資産	37	36	-2
流動資産計	862	918	56
有形固定資産	1,202	1,179	-23
無形固定資産	22	32	10
投資等	483	516	33
非流動資産計	1,707	1,728	21
資産合計	2,569	2,646	76

2. 負債・資本の部

(単位：億円)

	2021年 3月末	2021年 9月末	増減
営業・その他債務	192	210	18
有利子負債	295	275	-20
引当金	78	75	-3
その他負債	149	149	0
負債計	714	709	-5
資本金	182	182	-
資本剰余金	149	147	-2
自己株式	-87	-87	-0
利益剰余金	1,542	1,614	72
その他の資本	53	67	14
非支配株主持分	17	15	-2
資本計	1,855	1,937	82
負債・資本合計	2,569	2,646	76

II. 2022年3月期 業績予想

2022年3月期 業績予想 概要 (1)

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2021/3 実績	2022/3 今回予想	増減額 (率)	2022/3 当初予想	増減額 (率)
売上収益	1,446	1,600	154 (10.7%)	1,500	100 (6.7%)
セグメント別 営業利益計	189	200	11 (6.1%)	160	40 (25.0%)
営業利益	173	195	22 (13.0%)	150	45 (30.0%)
税引前利益	177	195	18 (9.9%)	150	45 (30.0%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	135	140	5 (3.8%)	107	33 (30.8%)
基本的1株当たり 当期利益 (円/株)	691.33	717.30		548.22	
中間配当 (円/株)	85.0	85.0		85.0	
期末配当 (円/株)	85.0	100.0		85.0	

< 前期比での主な差異要因 >

〔売上収益〕

車載用LiBインダー向けPVDF、自動車部品向けPPS、シェールオイル・ガス掘削市場向けPGA加工品など機能樹脂を中心に伸長し、増収。

〔セグメント別営業利益計〕

2021年度下期は上期に対して家庭用品の数量減少、環境事業の競争激化等で採算は悪化するものの、2021年度通期ではPVDF、PPS等の機能製品の拡大、家庭用品上期の好調が残り、増益。

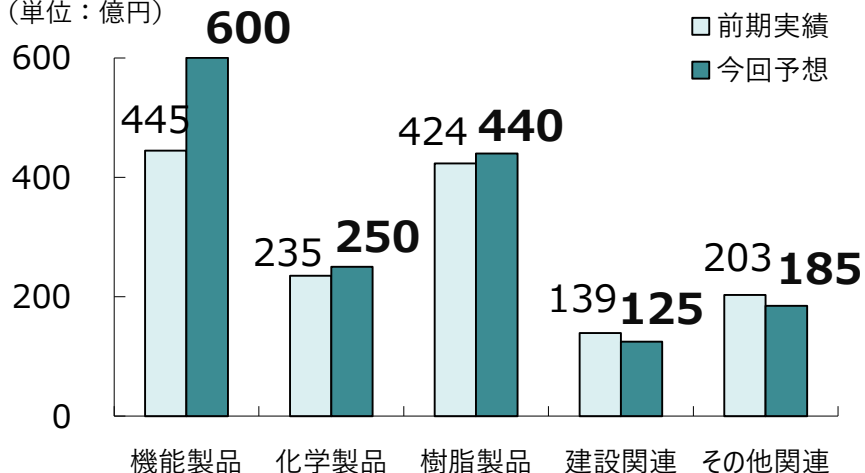
< 当初予想比での主な差異要因 >

上記の他、PVDF生産、原燃料高騰リスクを勘案し、下期は上期に対して減速を予想する。通期ではPVDFは付加価値の高い特殊ポリマーの販売比率が増加、家庭用品の上期の好調もあり、売上上振れ。原燃料高騰に対し価格転嫁を進め、経費削減と合わせ、利益上振れ。

<セグメント別 前年比較>

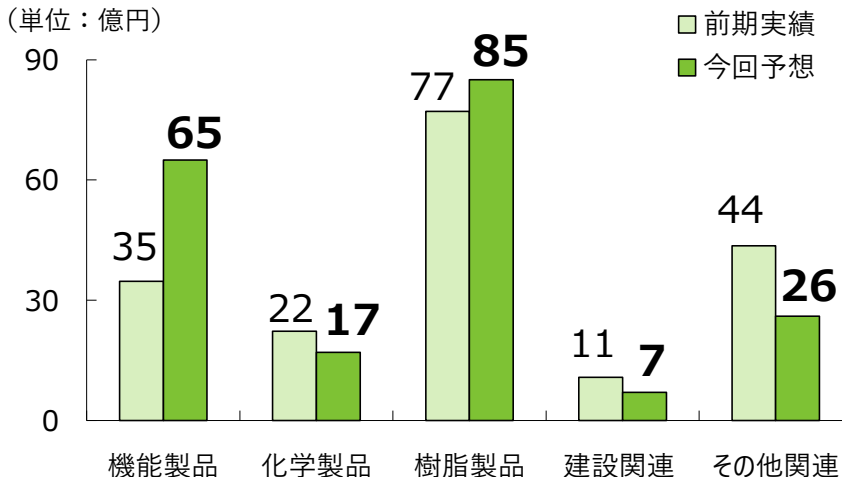
【売上収益】

(単位：億円)



【セグメント別営業利益】

(単位：億円)



<セグメント別営業利益の主な変動ポイント>

- 〔機能製品〕 車載用LiBバインダー向けが好調なPVDF、増設プラントが稼働したPPSなどが貢献し、増益。
- 〔化学製品〕 農薬の販売減少、医薬品の薬価改定があり、減益。
- 〔樹脂製品〕 家庭用ラップ、その他の樹脂製品の好調により、増益。
- 〔建設関連〕 工事物件の構成の変化、競争の激化により、減益。
- 〔その他関連〕 一時的な災害廃棄物の処理、処分がなくなり、減益。

2022年3月期 業績予想 概要 (3)

株式会社クレハ

2021年3月期 実績

	機能	化学	樹脂	建設	その他	全社
売上収益	445	235	424	139	203	1,446
セグメント別営業利益	35	22	77	11	44	189
調整						1
その他の収益(+)						9
その他の費用(-)						25
営業利益						173
金融収益(+)						7
金融費用(-)						2
税引前利益						177
親会社利益						135

(単位：億円)

... 固定資産減損損失 16億円
 固定資産除却 4億円 他

2022年3月期 今回予想

	機能	化学	樹脂	建設	その他	全社
売上収益	600	250	440	125	185	1,600
セグメント別営業利益	65	17	85	7	26	200
調整						0
その他の収益(+)						8
その他の費用(-)						13
営業利益						195
金融収益(+)						5
金融費用(-)						5
税引前利益						195
親会社利益						140

(単位：億円)

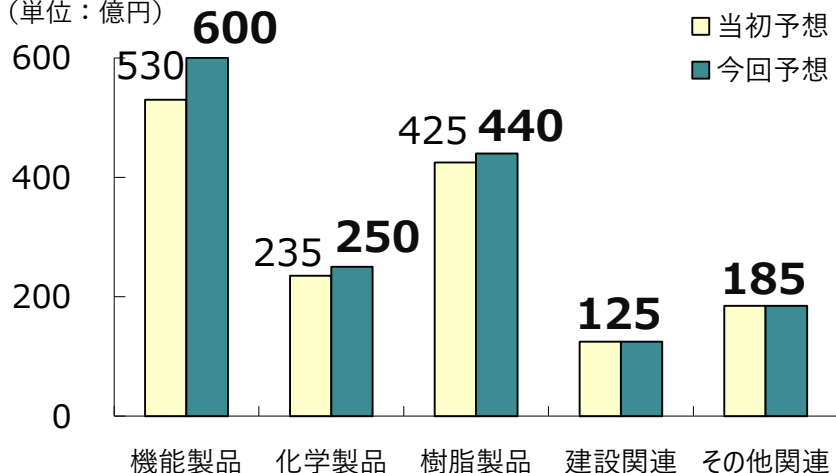
... 定年延長による一時的な
 退職給付債務の増加 5.5億円 他

KUREHA

<セグメント別 当初予想比較>

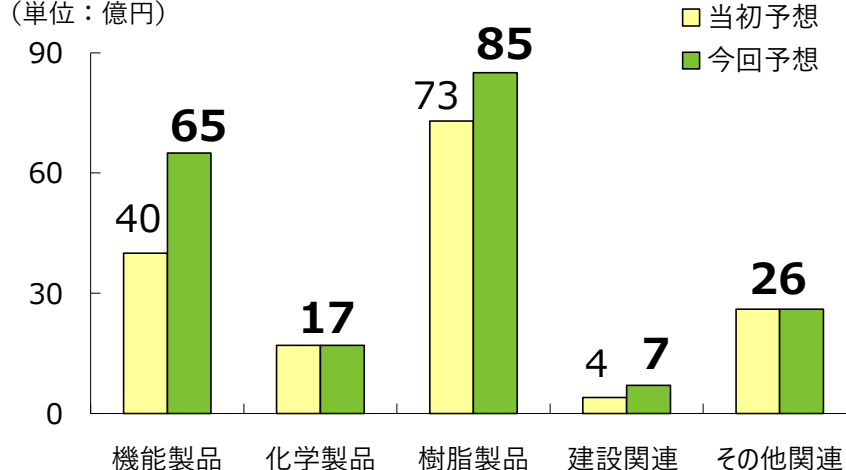
【売上収益】

(単位：億円)



【セグメント別営業利益】

(単位：億円)



<セグメント別営業利益の主な変動ポイント>

- 〔機能製品〕 PVDF、その他の機能製品の販売拡大により、上振れ。
- 〔化学製品〕 当初予想通り。
- 〔樹脂製品〕 家庭用ラップは、コロナ禍からの段階的な回復により巣ごもり消費が減退し、下期は上期と比べ減収ながら、当初予想比では通期上振れ。
- 〔建設関連〕 大型物件の利益率改善や工事物件の構成の変化により、上振れ。
- 〔その他関連〕 上期は好調も、下期は環境事業の競争激化や経費増により下振れ、通期では当初予想通り。

2022年3月期 業績予想 概要 (5)

株式会社クレハ

2022年3月期 当初予想

	機能	化学	樹脂	建設	その他	全社
売上収益	530	235	425	125	185	1,500
セグメント別営業利益	40	17	73	4	26	160
調整						
その他の収益(+)						3
その他の費用(-)						13
営業利益						150
金融収益(+)						3
金融費用(-)						3
税引前利益						150
親会社利益						107

(単位：億円)

... 定年延長による一時的な
退職給付債務の増加 5.5億円 他

2022年3月期 今回予想

	機能	化学	樹脂	建設	その他	全社
売上収益	600	250	440	125	185	1,600
セグメント別営業利益	65	17	85	7	26	200
調整						0
その他の収益(+)						8
その他の費用(-)						13
営業利益						195
金融収益(+)						5
金融費用(-)						5
税引前利益						195
親会社利益						140

(単位：億円)

... 定年延長による一時的な
退職給付債務の増加 5.5億円 他

KUREHA

【機能製品】セグメント別業績予想

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2021年 3月期 実績	2022年 3月期 予想	増減 (率)
機能樹脂	288	425	137 (47%)
炭素製品	53	52	-1 (-2%)
その他	103	123	20 (19%)
売上収益	445	600	155 (35%)
営業利益	35	65	30 (87%)

[当初予想：売上収益 530億円 営業利益 40億円]

<前期比> 売上↑ 営業利益↑

機能樹脂

車載用LiBバインダー市場の拡大したPVDF (+85億円)、増設プラントにより販売が拡大したPPS (+34億円)、シールオイル・ガス掘削市場が回復傾向のPGAなどが伸長し増収、PPSは持分法利益の増加もあり、増益。

炭素製品

半導体製造用、熱処理用の断熱材の受注は好調となるも、売上、利益ともに前年同期並み。

その他

各種産業の生産が回復し、国内グループ会社のその他機能製品の販売が戻り、増収・増益。

<当初予想比> 売上↑ 営業利益↑

・PGAの利益は若干下振れるものの、付加価値の高い特殊ポリマーの比率が増すPVDF、PPS持分法利益、炭素製品、その他の機能製品の利益が上振れし、合わせて利益上振れ。

KUREHA

【化学製品】セグメント別業績予想

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2021年 3月期 実績	2022年 3月期 予想	増減 (率)
農薬	71	70	-1 (-1%)
医薬品	40	40	-0 (-1%)
工業薬品	61	70	9 (15%)
その他	63	70	7 (11%)
売上収益	235	250	15 (6%)
営業利益	22	17	-5 (-24%)

[当初予想：売上収益 235億円 営業利益 17億円]

< 前期比 > 売上 ↑ 営業利益 ↓

農薬・医薬品

医薬品の薬価改定や新農薬の開発費増加があり、減収・減益。

工業薬品

主に有機薬品の市況回復により、増収・増益。

< 当初予想比 > 売上 ↑ 営業利益 →

・工業薬品の原材料価格高騰分の価格転嫁などがあり売上は上振れ。農薬は上期への出荷前倒しがあったものの、通期の利益は当初予想通り。

KUREHA

【樹脂製品】セグメント別業績予想

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2021年 3月期 実績	2022年 3月期 予想	増減 (率)
家庭用品	218	225	7 (3%)
釣糸	40	45	5 (13%)
業務用包材	119	130	11 (10%)
その他	47	40	-7 (-15%)
売上収益	424	440	16 (4%)
営業利益	77	85	8 (10%)

[当初予想：売上収益 425億円 営業利益 73億円]

< 前期比 > 売上 ↑ 営業利益 ↑

家庭用品・釣糸

家庭用品（NEWクレラップ・キッチンさんシリーズ）、釣糸「シーガー」が増加し、増収・増益。

業務用包材

東南アジア向けのPVDCフィルムが好調となり増収、原料価格の高騰等があり、利益前年同期並み。

< 当初予想比 > 売上 ↑ 営業利益 ↑

・家庭用ラップは、巣ごもり需要が減退し下期は上期と比べ減収ながら、当初予想比では売上上振れ。その他の樹脂製品の好調もあり、利益上振れ。

KUREHA

(単位：億円)

	2021年 3月期 実績	2022年 3月期 予想	増減 (率)
建設関連事業	211	200	-11 (-5%)
連結売上消去	-72	-75	-3 -
売上収益	139	125	-14 (-10%)
営業利益	11	7	-4 (-35%)

[当初予想：売上収益 125億円 営業利益 4億円]

< 前期比 > 売上 ↓ 営業利益 ↓

建設事業は、公共土木工事での競争激化、工事物件の構成変化により、減収・減益。

< 当初予想比 > 売上 → 営業利益 ↑

・大型案件での利益率回復等により、売上は予想通り、利益は上振れ。

【その他関連】セグメント別業績予想

(単位：億円)

	2021年 3月期 実績	2022年 3月期 予想	増減 (率)
環境事業	149	131	-18 (-12%)
運送事業	78	81	3 (4%)
病院事業	40	40	0 (1%)
その他	24	23	-1 (-5%)
連結売上消去	-89	-90	-1 —
売上収益	203	185	-18 (-9%)
営業利益	44	26	-18 (-40%)

< 前期比 > 売上 ↓ 営業利益 ↓

環境事業は、前年同期の災害廃棄物がなくなり、減収・減益。

運送事業は、増収、利益前年同期並み。

病院事業は、売上、利益ともに前年同期並み。

< 当初予想比 > 売上 → 営業利益 →

- ・上期は好調も、下期は環境事業の競争激化や燃料費高騰により下振れ、通期は当初予想通り。

[当初予想：売上収益 185億円 営業利益 26億円]

(単位:億円)

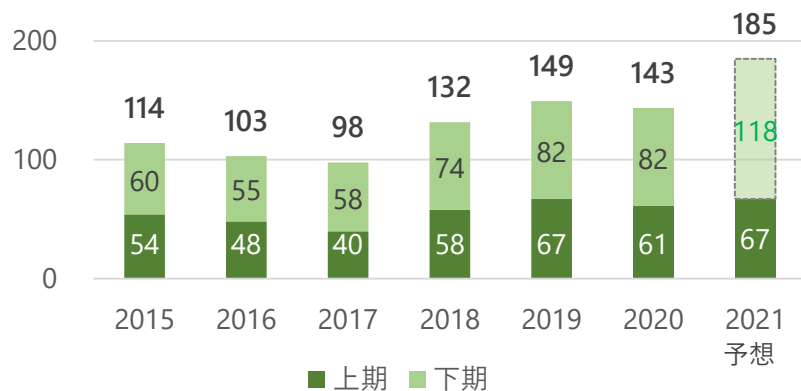
	2021年 3月期 実績	2022年 3月期 予想	増減
税引前当期利益	177	195	18
減価償却費および償却費	117	115	△2
その他	△27	△64	△37
営業キャッシュフロー	267	246	△21
投資キャッシュフロー ※	△39	△145	△106
フリーキャッシュフロー	228	102	△127
財務キャッシュフロー	△125	△60	65
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	3	0	△3
現金及び現金同等物の増減額	106	42	△64
現金及び現金同等物の期首残高	73	178	106
現金及び現金同等物の期末残高	178	220	42

※投資有価証券の売却収入
2021年3月期4Q 96
2022年3月期4Q 2

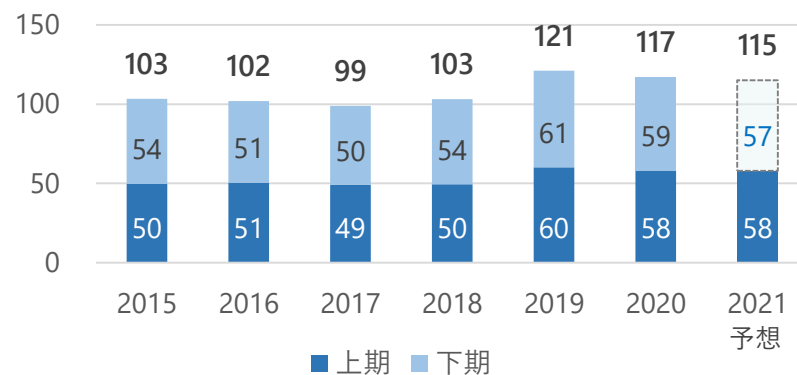
主要指標予想 (1)

(単位：億円)

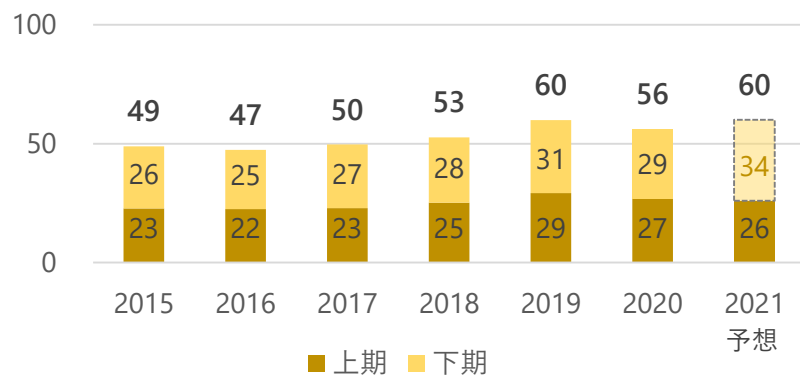
設備投資



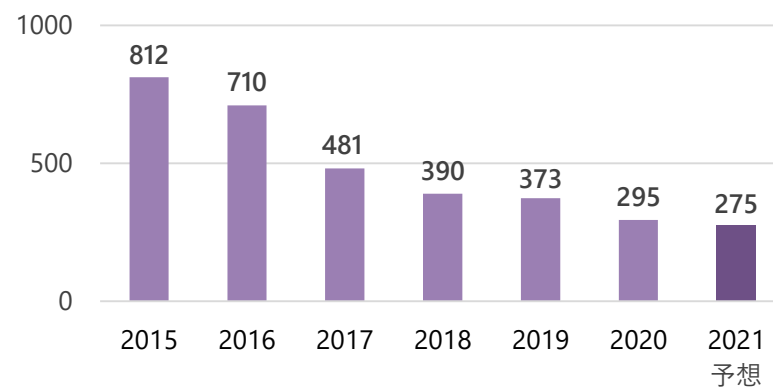
減価償却費



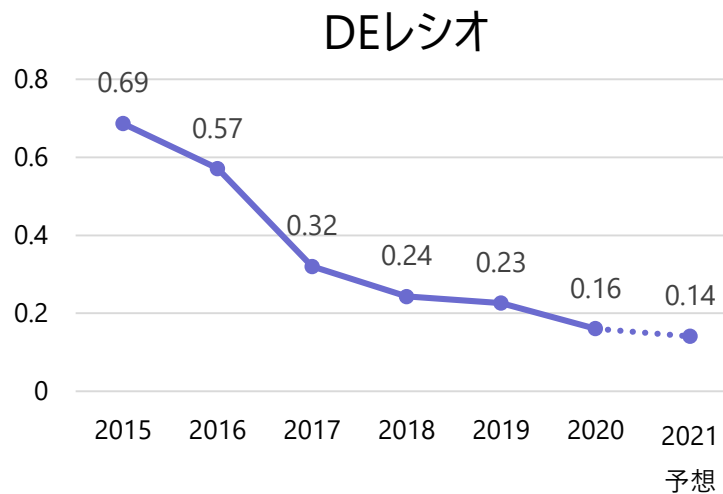
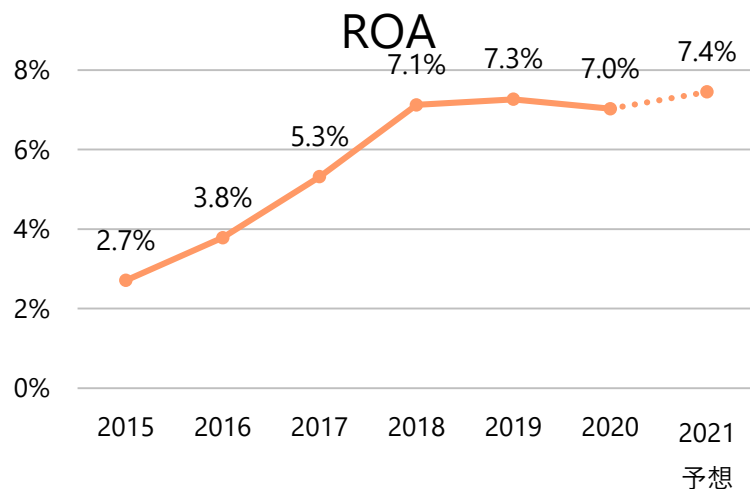
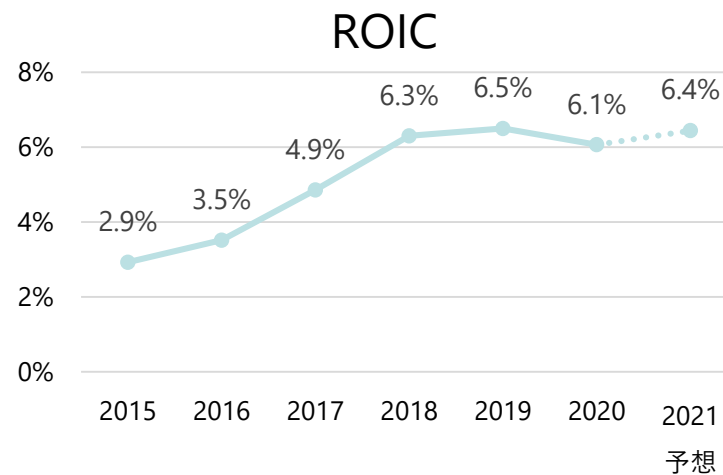
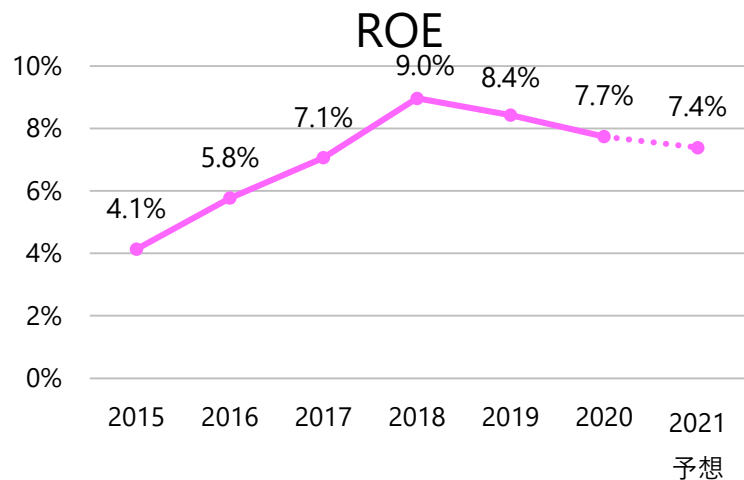
研究開発費



有利子負債

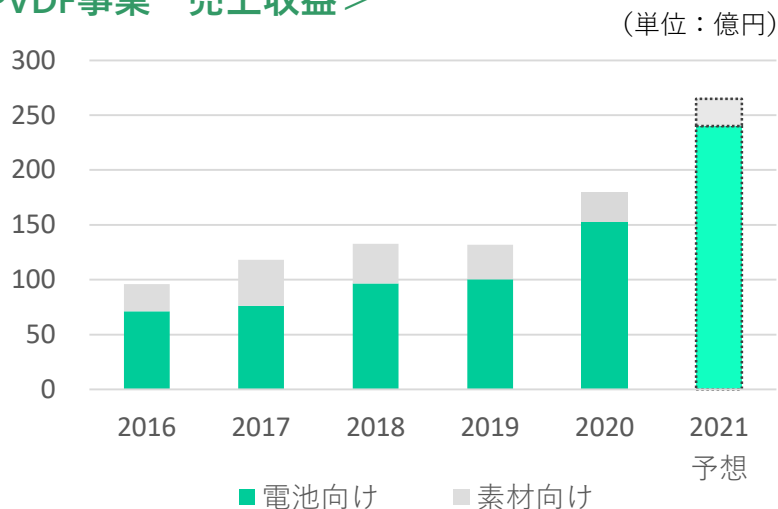


主要指標予想 (2)



Ⅲ. 添付資料

<PVDF事業 売上収益>



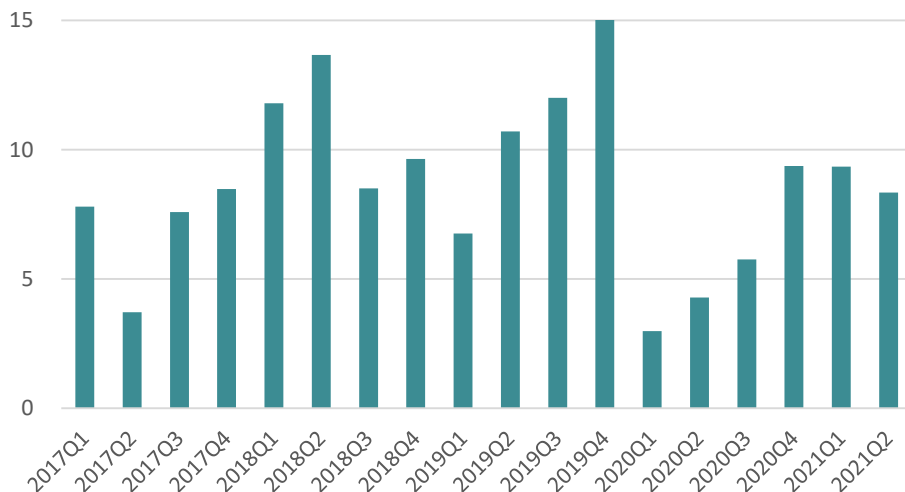
<生産キャパシティ>

時期	キャパシティ
2022年度	いわき事業所、特殊ポリマー生産比率向上 (公称能力 変更なし)
2024年度	新工場稼働開始予定 (新工場公称能力10,000t、既存設備と合わせ 21,000tとなる予定)

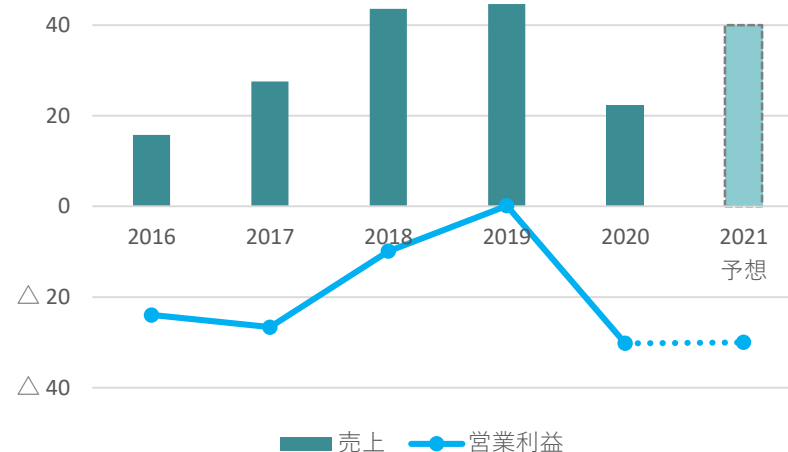
- 韓国・中国の大手LiBメーカー向けを中心に、車載LiB正極材用バインダー市場シェアは約40%で推移。
- 中国常熟工場でも2020年5月より特殊ポリマーの生産・出荷がスタート。
- 2021年度は2020年度下半期に続き中国・韓国の大手電池メーカー向けが伸長し、いわき・常熟の両工場はフル稼働が続く。各種生産性の向上や増産効果、付加価値の高い特殊ポリマーの比率が拡大していることから利益が拡大。
- フッ素原料は需要の急増と一部メーカーのトラブルから需給がひっ迫し高騰、大手顧客と価格フォーミュラを合意する等、適切な価格転嫁を進めている。
- 2022年2月、いわき事業所の特殊ポリマー生産比率向上の改良工事が完工する予定。
- 中国常熟市に中国第2工場の建設（10,000t）を決定。2024年夏頃の稼働を予定。クレハグループの公称能力は、現在の11,000tから21,000tへ。

(単位：億円)

<PGA 四半期毎の売上収益>

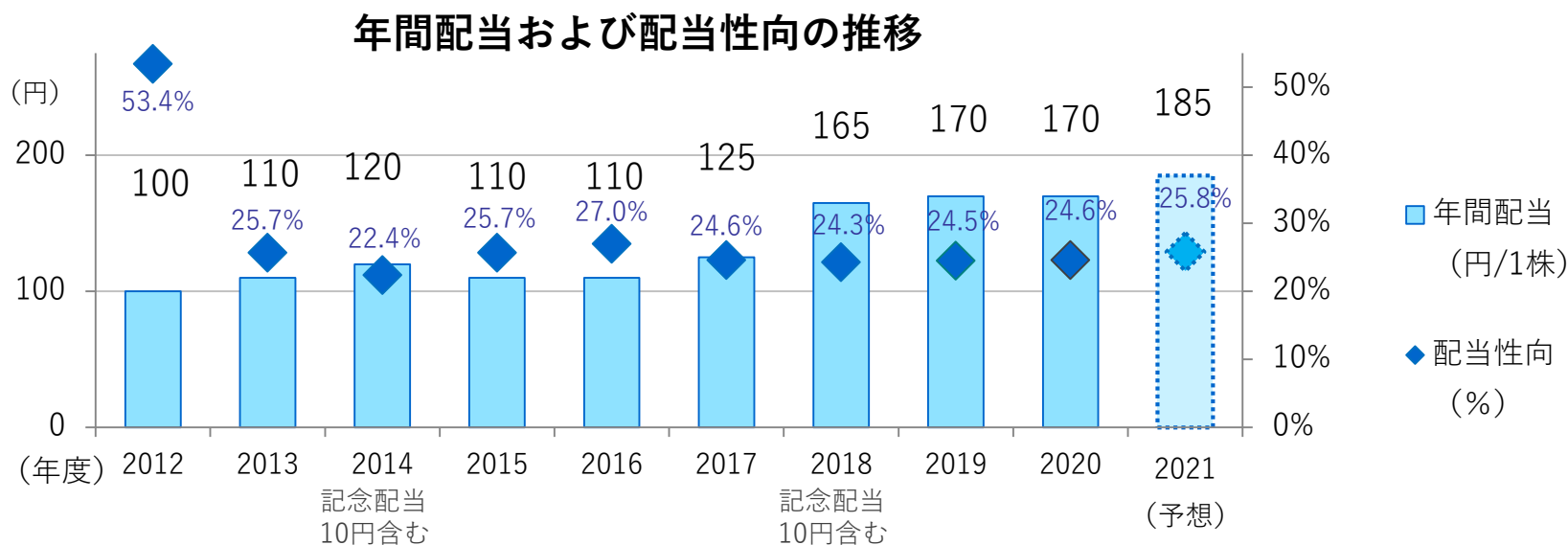


<PGA 年度毎の売上・利益>



- 新型コロナウイルスの影響による経済活動停滞からの回復が見られるなか、新規シェールオイル・ガス油井の掘削も徐々に回復している。
- 引き続き、価格戦略・デザイン改良・フルボア採用による中高温鉱区のシェア拡大と、超低温鉱区向けのPGAプラグ開発を加速する。

- 利益の配分については、中長期的な成長の実現に向け企業体質の強化を図るとともに将来の事業展開に備え、内部留保を充実すること、および、安定的、継続的な配当を実施することを基本方針としています。
- 柔軟な対応が可能な自己株式の取得も選択肢の一つとして検討していきます。



2016年10月1日付で普通株式を10株から1株に併合したため、それ以前のものには換算して表示しております。
 2015年度までは日本会計基準、2016年度からはIFRSです。
 2018年度に30億円、2019年度に50億円の自己株取得を行っています。

連結対象会社の概要 (1)

株式会社クレハ

(単位：億円)

	21年3月期2Q		22年3月期2Q		増減	
	売上収益	総資産	売上収益	総資産	売上収益	総資産
(株)クレハ	295	1,923	346	2,014	51	91
(株)クレハトレーディング・グループ2社	85	122	102	140	17	18
機能製品						
(株)クレハ	128	-	176	-	48	-
(株)クレハトレーディング・グループ2社	56	-	72	-	16	-
クレハエクストロン(株)	14	43	17	42	4	-2
Kureha GmbH	8	10	12	9	4	-2
Kureha America Inc.・グループ3社	12	252	23	286	11	34
呉羽（上海）炭繊維材料有限公司	4	12	9	14	5	2
呉羽（中国）投資有限公司・グループ2社	26	100	69	137	43	37
連結調整	-61	-	-90	-	-28	-
計	186	-	288	-	102	-
化学製品						
(株)クレハ	90	-	103	-	13	-
(株)クレハトレーディング	33	-	40	-	8	-
連結調整	-12	-	-15	-	-3	-
計	111	-	128	-	17	-
樹脂製品						
(株)クレハ	129	-	140	-	11	-
(株)クレハトレーディング	21	-	17	-	-4	-
クレハ合繊(株)	23	52	29	60	6	9
呉羽（中国）投資有限公司・グループ2社	1	-	2	-	1	-
Kureha America Inc.・グループ3社	10	9	11	13	2	4
Kureha Europe B.V.・グループ4社	35	70	41	69	6	-1
Kureha Vietnam Co.,Ltd.	15	29	21	39	6	10
連結調整	-23	-	-31	-	-8	-
計	211	-	229	-	19	-

連結対象会社の概要 (2)

(単位：億円)

		21年3月期2Q		22年3月期2Q		増減	
		売上収益	総資産	売上収益	総資産	売上収益	総資産
建設関係	クレハ錦建設(株)・グループ4社	70	112	72	109	2	-3
	(株)クレハエンジニアリング	23	23	18	24	-5	1
	連結調整	-35	-	-35	-	-0	-
	計	58	-	55	-	-3	-
その他	(株)クレハ環境・グループ2社	62	268	60	278	-2	11
	(株)クレハ分析センター	6	7	6	9	0	2
	クレハ運輸(株)・グループ2社	37	55	41	55	3	1
	(株)クレハトレーディング	0	-	0	-	0	-
	クレハサービス(株)	4	17	4	19	-0	1
	クレハスタッフサービス(株)	8	6	8	7	-0	0
	社団医療法人呉羽会	19	35	20	37	1	3
	連結調整	-42	-	-49	-	-7	-
計	95	-	90	-	-5	-	
連結合計		660		791		130	-
(連結対象子会社+持分法適用会社数)		(30)		(30)			

- 本資料はあくまで当社をより深くご理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- 本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- 本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。